

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス サバートス			
○保護者評価実施期間	対象者なしのため実施しておりません			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2025年 5月 13日 ～ 2025年 5月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 6月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い年齢層との関わり合い	小学校や中学校、高校別または学年別の活動にこだわらず、全員が参加できる遊びやスポーツを提案するなど、楽しんで過ごしてもらうことを心がけています。ゆくゆくは、こどもたち同士で活動を考え、意思決定できるような支援に努めています。	保護者様や学校の先生方と情報共有を行い、サバートス以外での過ごし方を把握し、課題に対する支援を随時検討してまいります。
2	「自然」と触れ合い、体験や遊びの中で学ぶ時間	お出かけなどのイベントに力を入れています。山や川、畑しごとを体感し、こどもたちの感性が豊かに育つ計画を全職員で話し合い、実施しております。	社会との繋がりを意識してもらうため、公共交通機関の利用や、買い物体験なども積極的に取り入れ、自立に向けた支援も行っております。
3	こどもたちが楽しく、安心して過ごせる暖かい空間	こどもたちが、ありのまま自分らしくいられるよう、できるだけ活動に制限をかけず、のびのびと過ごしてもらえる空間作りをしています。	部屋のスペースに限りはありますが、「今はこの活動ができない」ではなく、「できるようにするにはどうするか」を考え、臨機応変に対応するよう意識しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々との交流（事業所主催）	不特定多数の方との活動やコミュニケーションが苦痛に感じる子も多い点、個人情報への配慮が必要な点など、様々な懸念事項をクリアする必要があります。	検討を重ね、事業所として交流イベントなどの開催が可能と判断でき次第、積極的に取り組みたいと考えております。
2			
3			

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		サポートス		公表日		
				2025年 6月 23日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		部屋はそこまで広くはないですが、こどもたちが快適に過ごせるよう限られたスペースを有効的に活用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準に適した人数を配置しており、保育士等の有資格者も配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		室内は段差も無く、安全に配慮しています。必要に応じて安全面に配慮し、日々環境を改善していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		こまめに消毒、清掃等を実施しています。また、学習や活動に集中できる空間作りに努めております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	個別部屋等のスペースはございませんが、必要に応じて外出するなど、子どもたちが気分転換になるよう臨機応変に対応しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の支援やお出かけ等のイベントの際は、事前準備及び振り返りを行うミーティングを実施し、全職員が共通意識を持つよう取り組んでおります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からのアンケート結果を全職員に開示し、改善すべき点等について共有しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の定例ミーティングに加え、支援中にも職員同士が気軽に話し合えるような環境作りに努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者による外部評価制度は導入しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		2ヶ月に1回程度、外部研修や事業所内での研修を計画しております。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HP上に公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		お子様及び保護者様と日々関わる中で、ニーズやご要望等をしっかりと把握しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々、担当者と情報共有等を行い、全職員が共通意識を持ちながらこどもたちへ支援を行っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に掲げている目標のみではなく、職員全員で都度話し合い、イレギュラーな事象にも対応できる体制を整えています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々こどもたちの言動を観察し、共通のツールを活用して職員間で共有しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」について、5領域に留意した支援内容を個別計画書に記載しております。「家族支援」について、ご要望やお困り事のヒアリングなど、ご家族が安心してサービスを利用できるよう配慮しております。「移行支援」について、進学、進路についての相談などを実施しております。「地域支援・地域連携」について、保護者様よりご依頼がありましたら、状況を見つつ検討してまいります。	

提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		お子様の状況等について職員間で話し合い、随時、活動内容の検討ができる環境作りを行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		新しい活動について、職員間で意見を出し合いながら、積極的に取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の状況を把握し、お子様自身が楽しめる目づ保護者様のニーズにお応えできるような支援を意識して行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前のみではなく、その時々に合わせて最適な支援ができるよう、職員間でアイデアを出しながら支援を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		サービス提供時のお子様の状況や保護者様からの連絡事項またはご要望等を職員で共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		気づいた点等があれば、すぐに記録を取る事を徹底し、今後の支援に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者様とのご面談や日々のやり取りにて、現計画の見直しが必要と判断した場合は、評価後に見直しを実施しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		貴重な機会のため、より良い会議となるよう適した職員が参画しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様と確認をしつつ、情報提供や連携を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様よりご希望ありましたら実施することとしております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様よりご希望ありましたら実施することとしております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		事業所連絡会が開催される際は積極的に参加し、研修等を受ける機会を設けております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	保育所等との交流は現状ありません。頻度は少ないですが、公園で地域のこどもたちと一緒にスポーツをすることがあります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡ツールにて、お子様の状況等をお伝えしており、ご家庭での状況等も共有いただいております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	現状、家族支援プログラムは実施できておりません。	ご家族も参加できる研修等のご案内を行ってまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、事業所の方針や活動に関する紹介などについても説明を行っております。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもたちと関わる中で希望をヒアリングし、ご家族のご意向も反映させた計画を作成しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画書の説明後、署名にて同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		悩みや相談に真摯に向き合い、必要あれば面と向かってお話を聞いたりするなど、状況に合った支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	以前に開催したことはありますが、ご家庭の事情等を考慮し、現在は実施しておりません。	ご家族から一定数のニーズがありましたら、開催を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付担当者を設置しております。苦情があった際には迅速に、適切に対応してまいります。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		こどもたちの日々の過ごし方や、イベントの様子など、連絡ツールやSNSを活用して発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関する書類が他者の目に入らないようにも配慮しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ホワイトボードやイラストを活用するなど、こども一人ひとりに合わせたコミュニケーションを意識しております。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	個人情報保護の観点より、地域住民の方との交流は現在行っておりません。	個人情報に配慮して上で、イベント等の開催ができるかを検討してまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、マニュアルに則した研修を実施しており、役割分担の確認も合わせて行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、研修にて内容の確認、訓練にて避難や救出等の訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初回の面談時など、保護者の方へ事前に確認をしております。対応が必要なお子様については職員間で共有し、対応手順の確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様へヒアリングを行い、アレルギーのある食物の確認をしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づき、安全管理について定期的に確認しております。研修なども実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明を行い、防災訓練などの実施について保護者様へ周知しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員に対して、報告及び記録を徹底するよう周知しております。再発防止に向けた方策や取り組みについて協議しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職場内研修のみではなく、虐待や身体拘束についての外部研修にも積極的に参加しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束はやむを得ないと判断した場合（三要件を満たす）のみ適用する旨を保護者様へ説明し、了承いただいております。児童発達支援計画へも記載しています。	